

関係各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部長 宮部周作

2020 年度秋季における競技会開催方針について（続報）

今秋のオーシャン 4 競技会につきまして、開催中止といたします。

何とか競技会を開催できないか。フルスペックの競技会ができなかったとしても、何らかの形で競技会を開催できないか。ずっと検討してまいりました。

それはライフセーバーにとっての競技会が勝った負けただけではなく、技術や体力を高め合い、友情を育み、お互いにひと夏の労をねぎらい、そして皆がライフセービングファミリーの一員として一つになれる場であると信じているからです。

今年多くの浜では監視救助業務が行われませんでした。また多くの学校では新人勧誘さえまならなかったと思います。

その中でライフセービングという活動を来年、再来年、5 年後、10 年後につないでいくために、競技会という場がきっとそのお役に立てるのではないかと思い、開催にむけた準備を進めてまいりました。

ライフセービングスポーツ本部では、各競技会の実行委員会はもちろん、EMG、JLA メディカルダイレクター、都道府県協会、ホストクラブ、そして受け入れ先の地方自治体と協力しながら、慎重なアプローチで準備を進めてまいりました。

また競技会開催の折にはどのように感染防止策を実装しながら運営していくのか、ガイドラインやチェックリストの作成、開催判断タイムラインの設定、感染防止のための資器材の見積もり、密にならない競技会のあり方、さらには競技会の全体収支や、そもそも論としての競技会のあり方も含めて、多岐にわたる検討を進めてまいりました。

判断を行うタイムラインの 1 つとして設定した 7 月末のタイミングにおける現状を鑑み、複数の県で緊急事態宣言が発令されていること、感染の広がりが依然として収束していないこと、その中で競技会開催準備を継続していくことがこれ以上困難であること、そしてたとえ準備を進めたとしても開催できる確率は低いと推測されることから、現時点で競技会開催を中止することが望ましいと判断しました。

無念です。

無念ではありますが、我々がよく知るように人間は自然には勝てません。ここは残念ながら中止を選びます。今は新型コロナウイルスの収束を願い、冬のプール競技会、そして来年度以降の競技会開催に向けて備えたいと思います。そして、各地で様々な形で監視救助業務を行っている地域・クラブがひと夏を無事に終えることを願っております。

記

1. 2020年度秋季（9～10月）のオーシャン競技会は、全て開催中止とする。
 - 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権（サーフ）（ジュニア/ユースサーフチャレンジ2020）
 - 第35回全日本学生ライフセービング選手権大会
 - 第46回全日本ライフセービング選手権大会
 - 第20回オーシャンサーフチャレンジ in 白浜2020
2. 開催中止の理由は以下の通り。
 - **新型コロナウイルスの感染状況が想定よりも収束していないこと。**

6月末までの競技会の中止を決定したタイミングでは、夏以降であれば収束するであろうとの予測があったものの、判断日（*8月初頭）現在、複数の都道府県において緊急事態宣言が発令されていること。また、主要都市において新規感染者の数が記録を更新するなど、感染者が減少していないため、競技会開催の可能性は低いこと。
 - **競技会運営における収支・採算に支障をきたすおそれがあること。**

前述の4つの競技会において、2019年度参加団体を対象にアンケート調査を行ったところ、参加希望人数は前年度エントリー人数と比べて約60～70%減が見込まれることがわかった。この為、エントリー費の大幅な値上げを検討したが、この経済状況下では妥当でないと判断した。
 - **新型コロナウイルスの感染状況と本協会内部のリソース状況を鑑みて、競技会開催準備を続けていくことが困難であること。**

競技会の開催準備を続けることにより諸経費（事務費、宿泊施設のキャンセル費、など）がかかることから、このタイミングでの早めの判断を優先した。
3. 2020年11月以降のプール競技会日程は、当初発表の通りにて引き続き開催を検討する。開催の可否については、感染状況および社会情勢を見極めながら判断していく。

4. 今後の競技会日程（予定）

	場所	日程
SERC 選手権（仮称）	※調整中	※調整中
ジュニアプール競技会 短水路（仮称）	※調整中	※調整中
第12回全日本学生ライフセービング・ プール競技選手権大会	富士水泳場 （静岡県）	2021年1月30日(土)～31日(日)
全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手 権大会2020（プール）	※調整中	2021年2月中

*開催地となる会場、都道府県協会、加盟クラブとの受け入れ体制を調査中である。

以上

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部
info@jla.or.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会